

2012:日立 超電導1.5TMRI装置ECELON OVAL発売



- 楕円ボアを採用:幅74cmの楕円ボアを採用して、体格の大きい方また閉所を苦手とする方にとっても開放感を感じるようにした。これにより肩などのオフセンター部位の撮像も容易となった。
- 常時設置型受信コイルWIT RF Coil Systemで、頭部から体幹部撮像時に上部受信コイルのみを乗せ換えるだけで撮像が可能となった。
- 着脱可能な寝台WIT Mobile Tableを採用し、患者の乗せ換えを検査室外で行うことによりスループットの向上を図った。
- 新アプリケーションソフトウェア:
 - ーRadial scan技術RADARによりモーションアーチファクトの低減をはかった。
 - ー頭部検査時に撮像断面を自動的に設定するAutoPose機能を搭載し、検査時間の短縮を図った。